

加西市の今後の農政について

一般質問



中右 憲利 議員
(21 政会)

問 平成 30 年度からの減反政策廃止による影響について。

答 特に主食用米に対して、生産力の高い他府県からの販売攻勢が懸念されます。兵庫県はエリアを 6 つに分け、うるち米・酒米のほか、地域作物も含めた魅力ある産地づくりを検討する予定です。

問 山田錦の増産を奨励していた補助金を今年度打ち切った事情について。

答 県下の農協は、受け入れた量を全量出荷できずに在庫を抱えている状況です。販売戦略に基づいた生産計画を立てる時期に来ていると考えます。

問 オランダ式の最新施設園芸技術を導入した「鶏野トマトハウス団地」を生かして、農協や民間企業と連携しながら、ICTを活用した施設園芸を普及させるとともに、同技術を研究する大学や研究機関に絞って誘致を働きかけてはどうか。

答 トマトハウス団地は昨年 10 月から収穫を開始し、計画通りの収穫実績があがっています。市内農家も熱心に研修・情報交換されており、新規に施設園芸を試みる農業者に支援をしながら普及に努めたいと思います。

また、同施設で培ったノウハウをもとに、大規模施設運営の研究を進めているところであり、研究

機関の誘致を検討していきたいと考えています。

問 今後の農業のあり方に対するビジョンについて。

答 (市長) 30 年度からの減反政策廃止が、加西市にとって大変な状況を招く可能性があると思っています。現在加西市には農業ビジョンと言えるものがないため、今からしっかり作って、将来農業が成り立つようにしたいと考えます。

今までも農水省のビジョンに積極的かつまじめに取り組んできた加西市であればこそ、方向性さえ定めればやっていけるものと考えています。

■その他の質問項目

- ・土地の規制緩和等について
- ・観光政策について
- ・子育て支援施策について

小学生、中学生、高校生の通学道の整備計画について、ほか

一般質問



衣笠 利則 議員
(21 政会)

問 県道 81 号線西長町の歩道の工事計画についてどうなっているのか。

答 地図訂正を平成 29 年度中に終え、平成 30 年に着工予定です。

問 県道 372 号線東剣坂町の拡幅工事について。

答 北東側を拡幅するように、県と地元の協力を得ながら進めていきたいと考えています。

また、市道山下鎮岩線の西横田町の拡幅工事については、平成 31 年度までに完了したいと考えています。

地域公共交通の考え方について

問 高齢化社会が進むなか、賀茂地区（特に大柳町から福住、岸呂町）の公共交通の計画について。

答 地域の方々と連携しながら、地域主体型交通の導入を目指していきたいと考えています。

意見 乗り継いで目的地まで行くような形だと、利用しづらくなり、特に高齢者には負担になると思います。公共交通審議会で検討していきたいと思っています。

公共施設の防犯カメラの設置計画について

問 近年、犯罪も多様化しており、先般他市で市役所に可燃物を持ち込み、放火をしたという事案が発生しておりますが、本市では公共の施設の安全対策、防犯カメラの設置計画はどのようになっているか。

答 市役所、福祉会館については、設置に向けて対応したいと思っています。また、病院関係については、病棟も入れますと、31 台設置していますが、今後、駐車場については、録画機能を有したカメラへの取りかえを検討しているところです。